



輝け！北っ子！

2学期実施予定の行事等の開催について ～ 学級懇談 補足説明 ～

9日付けで配付した「令和2年度 二本松北小学校行事等の今後の見通しについて（再通知）」の中で、学級懇談の実施日を下記の通り通知したところです。

○ 1・3・5年	わくわく学級	…	10月1日(木)	15時～16時
○ 2・4・6年	すくすく学級	…	10月2日(金)	15時～16時

「授業参観は行くけど 懇談会は行かなくても・・・」とお考えの保護者の方がいらっしゃることは承知しています。実際、昨年度の懇談会の様子を聞いてみると、「授業参観からは随分人数が減っている」と聞いていました。これは、どこの学校でも同じような状況かもしれません。

このコロナ禍の状況の中で、懇談会を**授業参観と「セット」**ではなく、「**単独**」で開催することについては随分と意見もいただきました。多くは「人が集まらないのでは・・・」という意見でした。それでも、北小では懇談会を単独で開催することにしました。それは、懇談会を開くことに大きな意味・理由があると考えているからです。

まずは、コロナ禍の中で今年度「**担任としっかり顔を合わせていない方が多い**」言い換えれば「**担任と保護者の信頼関係がなかなか構築しづらい**」ということです。家庭訪問や教育相談等を通じてある程度は担任と話している方もいらっしゃいますが、なかなかじっくりと話す機会はとれていないのが現状です。学校と家庭が同一歩調で子どもの教育に当たるためには、一番は学校・担任・保護者相互の信頼感ではないかと思うのです。そして、その第一歩は「**会うこと**」「**話すこと**」だと思ふのです。コロナ禍の中であっても、子ども達にとって大事な一年であることは何ら変わりはありません。担任と家庭の信頼関係が大事なことも変わりありません。むしろ例年より大事だと言っても過言ではありません。まずは、関係づくりの第一歩として会って、話していただき担任の人となりについて感じていただきたいと思ふます。

さらに、「**保護者間のつながりができにくい**」ということです。例年のように様々な教育活動の公開があれば、保護者同士が顔を合わせる機会も多く、なんとなく知り合い、なんとなく仲よくなり、様々な話をするようになっていくことはよくあります。しかし、今年度は、特にクラス替えのあった学年などは新たな関係づくり／つながり作りは大変厳しい状況にあります。「担任には言いにくい／言うほどでもないけど○○さんなら」という話はたくさんあると思ふのです。そのきっかけづくりを懇談会が少しでも担えたらと思ふのです。さらには、みんなで家庭での悩みや学校への要望等を話し合うことで、今まで一人で抱えていた思いが学級の保護者同士で共有されたり、悶々としていた気持ちが少し軽くなったりすることもあると思ふのです。

そこで、今回の懇談会は「**学級**」懇談会を重視するようにしました。もちろん、学年として話をしなくてはならない点については「学年」懇談会の時間は設けさせてもらいますが、やはり、一日の学校生活の中で一番子どもと接点の多い「**担任**」と**話す時間を大事に**したいと考えています。できるだけ同一学級の保護者、そして少人数の中で話すことでお互いの理解を深めてほしいと考えています。

是非、ご都合をつけて 学級(学年)懇談会においでください。お待ちしております。

保護者の皆様からの声をお待ちしています。

～学校に対するご意見・ご感想等お気軽にお寄せください(または assist.nihonmatsukita-e@fcs.ed.jp まで)～

..... 切 り 取 り 線